

株主のみなさまへ

2020.1.1～2020.6.30



Kao

自ら変わり、そして変化を先導する企業へ、 花王らしいESG活動 (Kirei Action)を通じて、大きく成長していきます。

株主の皆さまには、日頃、当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスや各地の豪雨災害でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、体調を崩されている皆さま、被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延は未だ収束の目途が立たず、人々の暮らしや企業活動に大きな影響をもたらしています。当第2四半期累計期間(2020年1月から同年6月まで)において、当社グループの主要市場である日本の化粧品市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、インバウンド需要の大幅な減少や外出自粛等の影響を受け、前年を大きく下回る一方、トイレタリー(化粧品を除くコンシューマープロダクト)市場は、衛生関連製品の需要拡大により伸長しました。

このような状況の中、当社グループの売上高は、前年同期に対して7.5%減の6,672億円(実質4.3%減)、営業利益は745億円(対前年同期119億円減)となりました。なお、第3四半期以降も不透明な事業環境が続くことが予想されます。当社グループはあらゆる施策や経費の見直しを徹底して実行していきますが、2020年4月27日に公表した業績予想を達成することは困難と判断したため、連結業績予想の修正を行い、売上高14,300億円(修正前15,100億円～15,300億円)、営業利益1,900億円(同2,200億円～2,300億円)といたしました。中間配当金につきましては、配当予想を修正せず、前年同期に対して5円増配の1株当たり70円といたしました。

社会情勢や自然環境のみならず、人々の生活様式が大きく変わる中、当社グループは、財務面だけでなく、非財務面での戦略や取り組みも経営上の最重要課題のひとつと位置づけ、生活者が求める暮らしを実現するためのESG戦略として、2019年に「Kirei Lifestyle Plan」を発表しました。これは、より持続可能なライフスタイルを送りたいという、生活者のニーズや思いに答えるために策定したものです。当社グループは、イノベーションをベースに「Kirei Lifestyle Plan」の実行を進め、さらなる社会への貢献をめざします。そして企業理念である「花王ウェイ」に掲げる「正道を歩む」を貫くことを全員で共有・実践しながら、利益ある成長と社会のサステナビリティへの貢献の両立を推進してまいります。

株主の皆さまには、こうした当社グループの事業活動・企業活動に引き続きご理解をいただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2020年8月
花王株式会社
代表取締役 社長執行役員

澤田道隆

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

花王グループでは、国内外の従業員とその家族、お取引先・お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの安全と健康の確保を最優先

に考慮し、感染症拡大防止に努めています。

消毒液の増産、供給の推進

新型コロナウイルス感染症が拡大する2020年1月から消毒液の増産に取り組み、緊急を要する医療機関や高齢者施設等へ優先的に供給してきました。今後も、必要とされるすべての方々にお届けできるよう、供給体制の強化に努めていきます。



ヨーロッパ最大の拠点であるドイツでも、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するべく、衛生用品の生産と供給を進めています。高まる需要に対応するために、生産設備を強化し増産の取り組みを進めています。



地域への寄付や支援

花王グループが事業を展開する日本、アジア、欧米の各地域において、衛生関連製品の提供や寄付金の贈呈などを通じて、さまざまな地域の状況に応じた支援活動を進めています。



新型コロナウイルス感染症と戦う最前線で活動している医療従事者を対象に、ほっとした時間を過ごしていただきたいとの思いを込め、ヘルスケアを中心とした製品を提供する取り組みを行なっています。6月末までに407の医療機関に対し、34,440セットを送付しました。



衛生関連情報の提供

日本やアジアの各地域では、感染予防に関連する生活情報をウェブやSNSを通じて積極的に発信しています。



花王衛生科学研究センター最新情報

花王では、細菌や真菌、ウイルスの基礎研究を行っています。こちらでは、専門家の方向けに、最新の衛生関連の知見を掲載しています。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組むには、科学的なエビデンスに基づく対策が必要です。そこで、感染防止策に役立つと思われる、花王や世界の専門家の衛生研究に関する知見を集約し、ウェブサイトでご紹介しています。

▶ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

花王 私たちの想い

検索

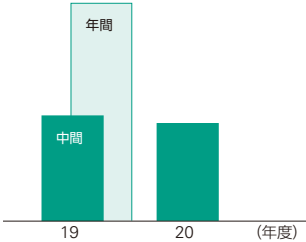


▶ www.kao.com/jp/corporate/research-development/hygiene-science/

連結業績ハイライト (2020年1月1日～6月30日)

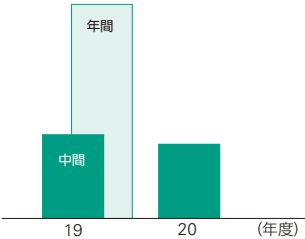
売上高

6,672億円
前年同期比 $\triangle 7.5\%$
為替変動および売上高の認識方法変更の影響を除く実質増減率は $\triangle 4.3\%$



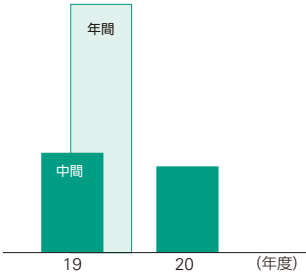
当期利益

515億円
前年同期比 $\triangle 11.5\%$



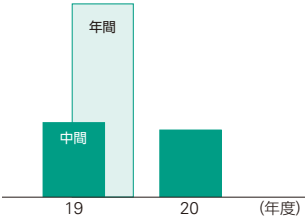
営業利益

745億円
前年同期比 $\triangle 13.8\%$



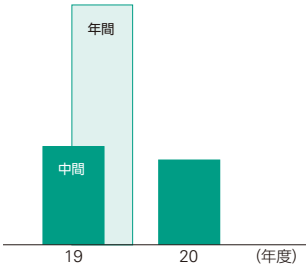
基本的1株当たり
当期利益

105.21円
前年同期比 $\triangle 10.8\%$



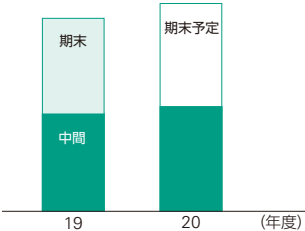
税引前利益

737億円
前年同期比 $\triangle 13.8\%$



1株当たり配当金

70円
前年同期比 5円増配



(注) 1. 記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。
2. 売上高は、一部の取引において認識方法を総額から純額に変更しております。

セグメント別事業概況

化粧品事業



売上高

1,099億円
前年同期比△20.7%
構成比 16.5%

スキンケア・ヘアケア事業



1,511億円
前年同期比 △0.3%
構成比 22.7%

ヒューマンヘルスケア事業



1,183億円
前年同期比 △3.7%
構成比 17.7%

ファブリック & ホームケア事業



1,717億円
前年同期比 +6.2%
構成比 25.7%

ケミカル事業



1,354億円
前年同期比 △5.2%
構成比 17.4%

- インバウンド需要が大幅に減少するとともに、世界中で外出規制等が行なわれた影響で売り上げは大きく減少
- 日本ではインバウンド需要の減少に加え、4月に緊急事態宣言が発出され、外出自粛や小売店の臨時休業が行われたこと、さらにマスク着用が常態化したことで、メイク品の売り上げが減少
- 欧米では店舗閉鎖の影響を受けたものの、アジアでは、花王中国はeコマースへの取り組みを強化したこともあり、「フリープラス」、「キュレル」の売り上げは順調に推移

- 衛生関連製品である「ピオレu」のハンドソープ、手指消毒液等の売り上げは伸長し、現在も供給を上回る需要により増産が継続
- 日本、アジアともにUVケア製品等のシーズン品の売り上げが減少
- ヘアケア製品では、欧米のヘアサロン向け事業の取引先の店舗閉鎖により、売り上げは前年同期を下回る

- ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、インドネシアでは順調に推移するも、日本、花王中国それぞれの売り上げは前年同期に比べ減少
- 生理用品「ロリエ」は、日本で高付加価値品が好調に推移し、売り上げは伸長するとともに、アジアでは花王中国が順調に推移
- パーソナルヘルス製品の売り上げは、堅調に推移

- 日本では、ファブリックケア製品で、衣料用洗剤及び衣料用漂白剤は堅調に推移し、ホームケア製品は、衛生的ですこやかな暮らしを守るための製品や情報の提供を強化。特に台所用漂白剤、食器用洗剤等の売り上げが大きく伸長
- アジアでも、衛生関連製品の売り上げが大きく伸長
- 業務用製品では、手指消毒液の増産体制を大幅に強化し、外食産業や宿泊施設、医療機関、介護施設等、衛生管理が特に必要な現場に供給

- 油脂製品では、需要減の動きがある中でも、油脂誘導体製品は堅調に推移
- 機能材料製品では、自動車関連分野等で需要減の影響を受け、売り上げは減少
- スペシャルティケミカルズ製品では、トナー・トナーバインダーが市況低迷の影響を受ける

(注)

1. 前年同期比は、為替変動および売上高の認識方法変更の影響を除く実質増減率。
2. スキンケア・ヘアケア事業は、一部の取引において、売上高の認識方法を総額から純額に変更しております。
3. ケミカル事業の売上高は、事業間の内部売上を含み、構成比は外部顧客に対する売上高で算出しております。

暮らしのきれいを守ろう！プロテクトJAPAN by 花王

130年にわたり、「こころ豊かですこやかな暮らしを使命にしてきた花王だからこそ、清潔の力で、あなたのその思いに寄り添っていきたい」という想いのもと、花王は皆さまの衛生的な暮らしに役立つ情報や製品をお届けしてきました。
2020年4月には、「私たちは、きっと乗り越えていける。」

清潔の力を信じ、今こそ一緒に、暮らしのきれいを叶えていこう」というメッセージに願いを込めて、さまざまな情報発信をしています。



コーポレートウェブサイト



新聞広告



企業CM

衛生的ですこやかな暮らしを守る製品をお届けします。

HAND 衛生習慣



FACE & BODY 清潔習慣



HOME 衛生的暮らし



頑張る「思い」を応援
[飲む・なめる・香る]
気分すこやか



▶ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

花王 プロテクト Japan

検索



ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」

花王では、生活者が求める持続可能な暮らしを「Kirei Lifestyle」とし、それを実現するための ESG 戦略「Kirei Lifestyle Plan」を公表していますが、その取り組み事例の一部をご紹介します。

パーパスドリブンなブランド

各ブランドが、コミュニティや社会課題の解決につながる存在意義（パーパス）を掲げ、事業活動を行ないます。



2020 年 4 月より、「Kirei Lifestyle」を体現するブランド「MyKirei by KAO」の販売を開始しました。米国でビジネスをスタートし、花王の本質研究から生まれた技術により、環境負荷が少なく、誰にでも使いやすいユニークな商品を提案していきます。

容器には、花王が開発したフィルム容器「Air in Film Bottle」を初めて採用しています。フィルムはつめかえ用容器に使われるやわらかい素材ですが、容器の外側に空気を入れて膨らませることで、自立する容器として使用することができ、プラスチックの使用量をポンプ型ボトルに比べ約 50% 少なくすることができます。さらに、つけかえ用をラインアップし、ポンプの繰り返し利用を促進します。また、従来ボトルに比べて液残りが少なく最後まで使うことができる、環境にやさしい容器です。

今後も、生活者の「Kirei Lifestyle」に貢献できる、幅広い商品群の提案を計画しています。

ごみゼロ

原料やプラスチック等を適正に使用し、それらの使用量を削減するとともに、使用済み容器等が使われなかった原料・製品を再利用し、資源循環型社会に参加します。

アイキャッチシールを廃止



2020 年春に発売の「ビオレ u」全身洗淨料（一部製品を除く）、ボディケア製品、入浴剤において、商品（パッケージ）に添付しているアテンションツール「プラスチック製アイキャッチシール」を順次廃止していきます。これは、生活者の購入時に商品特徴や正しい使用方法などを的確に伝達できるメリットがある反面、プラスチック使用量が増え、プラスチックごみや廃棄時の CO₂ 排出量の増大につながるという課題がありました。

今後は、従来「プラスチック製アイキャッチシール」で訴求していた内容をボトルに記載することで、2021 年末までには「プラスチック製アイキャッチシールの全廃」を達成します。

▶ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

花王 サステナビリティ

検索



株主様向け会社説明会のご案内

2020年11月14日(土)に株主様向け会社説明会を東京にて開催いたしますので、下記のとおりご案内申し上げます。当日は、社長のプレゼンテーションに続き、質疑応答の時間を設けます。皆様のご応募をお待ちしております。



2020 年 6 月開催 会社説明会
(当社 大阪事業場)

- 開催日時

2020 年 11 月 14 日 (土) 10:00 ~ 12:00
- 会 場

花王株式会社 本社
(東京都中央区日本橋茅場町 1-14-10)
- 内 容

社長による事業概況等の説明及び当社役員との質疑応答
- 募集人数

75 名
(ご応募多数の場合には抽選を行なわせていただきます)
※株主様ご本人のみご出席いただけます。
- 参 加 費

無料
(会場までの往復交通費は各自ご負担をお願いいたします)
- 応募資格

2020年6月30日現在、当社株式 100 株以上をご所有の株主様 (応募はがきは当該株主様のみ同封しております)
- 応募方法

同封の応募はがきをご投函ください。ご住所、お名前を記入いただく必要はございません。
- 応募締切

2020 年 9 月 11 日 (金)
- 当選連絡

抽選結果にかかわらず、ご応募いただいた株主様全員に郵送にてお知らせいたします。(2020 年 10 月中旬発送予定)

* 新型コロナウイルス感染症の影響により、本説明会に変更または中止する場合がございます。予めご了承ください。

* 本説明会にご応募いただきました株主様の個人情報は、本説明会の運営にのみ使用させていただきます、第三者に提供することはありません。

株主メモ

諸手続きのご案内・届出用紙のご請求

お手続きの内容	お問い合わせ先	
	証券会社の一般口座で保有される株式の場合	特別口座で保有される株式の場合
・住所、姓名などのご変更 ・配当金の受領方法のご変更 ・単元未満株式の買取、買増請求 ・マイナンバーに関するお届け・お問い合わせ	お取引のある証券会社	下記の当社特別口座の口座管理機関
・特別口座から証券会社の一般口座への振替請求		
・払渡し期間経過後の配当金のお支払い ・その他のお問い合わせ	下記の当社株主名簿管理人	

当社株主名簿管理人・当社特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先・電話照会先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (受付時間：平日9:00～17:00)

KAO

自然と調和する ころ豊かな毎日をめざして



Gold Standard
for the **Global Goals**



本冊子は、SDGsと紐づくGold Standard VERクレジット(ベトナムにおけるバイオガス使用によるメタン排出抑制事業)を用いてライフサイクル全体のカーボン・オフセットをしました



花王株式会社

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10

www.kao.com